

## 2020年9月度異業種交流会

開催日：2020年9月17日（木） 18:00～20:30

会 場：スーパードライ・名古屋

参加者：清水(49C)、池原(48C)、二宗(46M)

オンラインで参加：吉平(50C)東京から

(敬称略、順不同) 4名の参加

この異業種交流会は2ヶ月に1回(第3木曜日)、名古屋駅前の「スーパードライ名古屋」を定位置として開催している。昨年より「私のミニプレゼン」と称し、会員から30分程度のプレゼンによる話題提供などを取り入れ(数回に1回程度)、10人前後の会員が集まって継続してきた。

3月、5月、7月はコロナウイルス感染拡大防止の面から中止にし、9月から再開という形で設定した。

参加者は4人で、そのうちの一人はオンラインの参加者。コロナ感染者数は減少傾向ではあるが、基本疾患を持っている、家族との関係などで少ない参加者となった。今回の試みとして、「店のリアルな場所とZoomソフトを使ったオンライン参加」という二つのハイブリッド形式の交流会にした。

店にノートパソコンを持ち込み、席も半個室的なところを用意してもらった効果もあり、マイクもきちんと皆の声を拾ってくれて会話ができた。4人がいかにも同じ場所で飲みながら懇談している雰囲気になった。

吉平さんは昨年に名古屋での現役を退職され、東京に戻っての生活をされている。退職後の人生をいろいろ考えていたが、コロナのせいでなかなか動くことができない現状や、今の東京の様子を話してくれた。東海連合支部の行事にも参加したいのだが、まだ新幹線に乗ってないとの心の内も聞いた。終了後、「楽しい会話の機会を提供してもらった」との感謝のメールが、幹事あてにすぐに届いた。

池原さんは、家庭の事情で現在は岡山県に住んでいるが、名古屋まで出て、この会に参加してもらっている。清水さん(今回も参加)と近辺の山登りなどを楽しんだ後、この会に参加するパターンで毎回の参加者である。

池原さんは、俳句を作り地元新聞に投稿している。。今回披露してもらった句は、岡山県俳句大会で「岡山県教育長賞」をいただいた句であった。

清水さんは、「コロナを必要以上に怖がり、外に出て動くことをやらないと心身ともに衰えややる気がなくなる」ことを心配され、注意点をしっかり抑えての行動的生活を話してくれた。

今回Zoomによるリモート参加をトライし、いろいろな事情で参加できない人への有効な手段の一つになりえることを確信した。次回もこれを取り入れ、また取り上げる内容ももう少し工夫して、より多くの会員が繋がり、各人の喜ばれる会にしたい。(幹事としての意見)

